



炬火を掲げていざ謳う

No.9



私たちの泉鳥取

2022年7月11日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部員たった1人 最後の夏の大会か？

毎日新聞 泉鳥取高校野球部を取材



西坂くん(45期)と濱崎監督

去る7月6日、毎日新聞に「部員たった1人 3年後閉校の大阪府立高野球部が挑む『最後の夏』」という記事が載りました。

第104回全国高等学校野球選手権大会大阪大会の参加校は177校、このうち合同チームがあるのでチーム数としては165チームが甲子園をめざして戦います。泉鳥取高校でたった一人の野球部員、西坂俊槻さんと顧問の濱崎祥成教諭の特集が毎日新聞に掲載されたのです。詳細は記事を参照していただくとして、今回の大会には、泉鳥取高校は、りんくう翔南、藤井寺工科、農芸高の4校合同チームで出場します。毎日新聞の取材に

西坂君は「このまま下級生が入部しなければ今大会後に自然消滅するため、本人だけでなく、学校にとっても“最後の夏”になる可能性がある」「最後に勝って、いつか『部員1人で頑張った泉鳥取という高校があったな』と記憶に残る試合にしたい」と述べています。

もともと泉鳥取高校には、野球部がありませんでした。平成の初めころ、阪南市の協力を得て、一度野球部設立の動きはありましたが、設立は平成21（2009）年まで待たねばなりませんでした。この年に硬式野球部を創部したいという生徒9人名が集まり、納谷教諭の下に「野球愛好会」がスタート。平成22（2010）年12月硬式野球部が誕生しました。平成23（2011）年、36期生が7名入部し、同年度夏の大会へ初出場を果たしました。その後も人数不足に苦しみながらも、平成26（2014）年には3学年あわせて13名という状況の中、夏の大会（第96回大会）1回戦、貝塚南との試合で9-1で初勝利を収めました。

しかしながら、その後高校生の減少や部活動の沈滞化の中、合同チームでの参加が続きました。今年度は、りんくう翔南、藤井寺工科、農芸と合同チームで参加します。

現在、野球部に所属する生徒はいませんが、1年生、2年生で高校野球の大会に出たい、という人がいれば、硬式野球部に加入すると、令和5（2023）・6（2024）年度大会に参加は可能です。

中学まで野球をしていても、高校で野球部に加入しなければ、高校球児にはなれません。「単なる野球がちょっとうまい大人」になるか、「もと高校球児」となるか、泉鳥取1年生2年生の野球経験者はもう一度考えましょう。



平成27(2015)年春季大会にて
(40周年記念誌より転載)

第104回全国高等学校野球選手権大会 大阪大会

泉鳥取・りんくう翔南・藤井寺工科・農芸 VS 大教大天王寺

7月16日(土)11:10～ 久宝寺緑地硬式野球場(八尾市)